

町政のひろば

No. 1

町議会 12月定例会 から

三年ぶりの一般質問 計画性ある町づくり



写真 中央の立っているのが
答弁する根津町長

四十二年十二月の町議会定例会は二十日と二十一日の二日間の会期で開かれている。

この議会で、特に注目されたのが十人の議員から通告のあった一般質問で、町議会で一般質問が行なわれたのは実に三年ぶりのことであった。質問したのは、平野圭二氏・小川清次氏・小林与作氏・齊木定太郎氏・田中与三郎氏・齊喜政良氏・高橋惣八郎氏・登坂敬恒氏・中村金作氏・滋野一郎氏（以上質問順）の十人である。

時期からみて、根津町長の就任直後のことであり、ひじょうに新鮮な空気のように質疑応答が展開されたものであるが、内容的にも、みんなの共通した関心事を折りこんだところの活発な論戦であった。

計画性のある町政運営、ほ場整備事業の推進をはじめ、住みよい町、魅力のある町をつくるための基本的な考え方が明らかにされているのでこれらをつぶさにお知らせしてみたい。

やがて、昭和四十三年度の予算編成も終るけれども、一般質問に現われた町政運営の姿勢が、どのように具体化してゆくか、よくみつめていただいで、こんごの町づくりが円滑に進行するよう、町民のみながのご協力を得たいのである。

ほ場整備を強力に推進

医療問題は特別委員会で検討

平野圭二氏 わたくしは、主としてほ場整備の推進についておうかがいする。

ほ場整備は、いま川西町の基本施策として考えられているが、この七百ヘクタールないしは八百ヘクタールの平地地域のほ場整備はこんどの町にとって、おおきい影響をもつのである。

この事業を実施するためには、受益者のかたがたの自覚と努力が必要なることはもちろんである。くわえて、町当局の強力な指導、特に町長を中核として、これが川西町のためになり、これが町民の総意であるという認識のうえに立つてだんじて、この大事業を行なうという決意が、ことの成否を決する重大要素になってくる。

ならないこの大事業にとりくむ決心のほど、またはお考えを示していただきたい。

用水事業費は 約十億円

根津町長 ほ場整備事業の推進は、これまで川西町ほ場整備事業推進協議会で熱心に研究討議され、あるいは政治運動をおこなない県単調査まで続けてきた。

その結果にもとづいて、さらにこれからの進捗計画を順調にすすめるようつとめた。

この事業の実現を期することが川西町の抜本的な進展を図る道であると考えている。

事業実現の方策として計画され約十億円を要するといわれる県営のかんがい排水事業、それと、約八億円を要するといわれている団地営ならびに県営ほ場整備事業を関係者に徹底し、その総意を結集して推進するためには、相当な困難に直面することが考えられるけれども、ぜひ、実現を期したい決心である。

平野圭二氏 このほ場整備

に關連して、地域の水源を豊富に確保し、たえば、流雪溝の水に利用するか、あるいは道路に消雪パイプをとりつけるというようなことを基本的に考えてもらいたいこと。

(質問する平野氏)



剩努力をいかに有効に他に投入できるかということが、経済的におおきな問題となってくる。この点でも、やはり豪雪地帯であるので道路の整備が先決となるのだが、どのようにお考えか。

根津町長 ほ場整備事業と

豪雪対策の関連については、ご意見のとおり、この水利を、冬期間の流雪溝など、除雪のために活用することや、余剰労力を有効に活用するために、他産業に従事するために、道路の無雪対策は、ぜひ実現しなければならぬと考えます。

医療行政の問題

小川清次氏 町全般にわたる医療行政と診療所の問題に關しておうかがいする。

① 仙田診療所にあつては、医師の登坂さんが定年を過ぎて嘱託医という年令に達している。

病氣入院されていたが、最近、退院したということも聞いている。

あの地域で、積雪期に直面して特に急患の場合等を考えると、住民の不安もひとごとでない。

県でも容易に医師をまわしてくれそうもないということであるし町としては、この医師の配置について、どのようなお考えがあるのか。

② 千手および橋の両診療所にふたりの医師が交互に、一日交替で勤務しているが、それより、ひとりでつづいて両診療所に勤務してくださるほうが、患者や住民の希望するところではないかと考へる。また、診療所の縮小、運営の改



(質問する小川氏)

善等ならぬかの方法手段を講じなければならぬ時期にきているとも考へているが、町長は、これに對してどう考へるか。

根津町長 ① 県営の仙田診療所の問題であるが、登坂先生も退院されて、十一月二十七日からふたたび勤務していただくさいますが、雪中、無理な往診等はお願ひできません。

お話しのとおり、雪中は医師不在といった状態に直面することも考へられるので、その際は、ふたたび十日町病院へお願ひして、週一回ぐらいの医師派遣を依頼しなければならぬと思われます。

実は、ジープ一台を購入したので冬期間の患者輸送や仙田地区への医師の往診のために使用したい。もちろん、このジープは夏場は工事用として使用するという予定であるが、雪中、平場と仙田間の医療関係のため、じゅうぶん利用してもらいたい。

② 千手および橋診療所にふたりの医師が一日交替で勤務するよりも、各診療所を、ひとりの医師が担当したほうがよいではないかと考へる。この面診療所の問題については、特別委員会でもじゅうぶん検討してもらうことになっております。

健康管理、あなたがおっしゃるような、取次的な役割りをしてもらう健康センターとすることも考へられます。

しかし、この面診療所の問題については、特別委員会でもじゅうぶん検討してもらうことになっております。

ここで、主観的なわたしの考え方を申し上げることは、かえって特別委員会の審議の妨げとなると思われますので、この程度でご了解をねがいたい。

小川清次氏 ふたりの医師をそれぞれ橋、千手に常置して勤務していただくことに賛成といわれたが、いつごろから実行にうつされるつもりか。

根津町長 特別委員会でもよく検討していただいて、その結果によって考えさせていただきます。

町有施設敷地の買上げと

小林与作氏 町長は、選挙のさい、第一スローガンに「均整と調和のとれた町政の樹立」をかけた。以来、その点に励んでおられる姿勢をながめて、真に敬服しご期待申し上げる。

まず、町有施設の敷地の買上げについて質問する。

わたしのよく知っている中仙田小学校、仙田中学校の敷地になっているものは七千六百六十一坪もあるわけで、あの中仙田でもいっしょに買上げたいところがある。買上げたいところがある。買上げたいところがある。

っている。その借地料は、ほんとうに微々たるものであつて、昨年までは、坪当り八円であつた。

年々わたしたちもこれで困るということを申し上げ、本年は二円ぐらいアップして支払われることだろうと期待している。

一方、一般の小作料とくらべてもまことに均整を欠くものであるから、学校の敷地関係では、昭和三十五年十二月に買収の請願をだし、この請願は採択された。

関係者としては、いつ町当局で買ってくれるのかと期待していたけれども、いまだに買収してくれず、借地料も旧態依然としていた。

これでは固定資産税にも見合わないのではないかと思つて、他の学校でもそれなりに似たような事情が仙田の各地にあつて、いわゆる目に見えないぎせいを強いられているわけである。

膨大な面積をいっしょに買収するということは不可能のことであるから、年次的にでも買収するというのが当然ではないか。

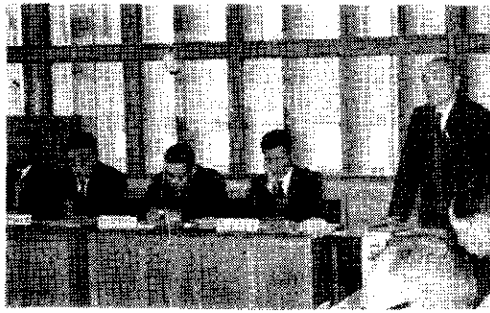
一方には、国鉄の買下げ敷地等が、まことに不経済なからで残つていて、現在使用している土地はできるだけ町有とし、不用のものは即刻買下げ住民の用に供してゆくこと、町のためではないのか。

根津町長 均整と調和のとれた町政を行なうためには、ご意見はまことにごもっともである。町有施設の敷地買上げについては、いままでも地主の申し出によって地元負担をねがい、実情をく

んで買上げをした例もあるが、現在、借用地は約一万一千九百坪あるので、買上げるにしても、相当な財源が必要である。

借地料は、坪当たり最低十円から最高百十七円まであってまちまちである。

借地料の是正はぜひ必要でありこの改定によって解決できるものもあると思われる。



(立っているのが)

質問中の小林氏)

小林与作氏 町有施設の敷地買収について、中仙田の場合、再請願をすれば、本格的にとりくんでいただけるか。

根津町長 調査をさせていただいて、財源とにらみあわせて考えさせていただきたい。

小林与作氏 つきは、仙田地区の農集電話の敷設について助成のお考えがあるかどうかについておうかがいする。

仙田地区では、三年前から有線放送について研究をしてきたが、部落が点在するため、どうしても五万円以上の負担がかかるというので、農村集電話に変更し、今月十五日に通話が開始された。

四十一年に、上野、橋農協の有線敷設の請願があったとき採択となつて助成がなされた。

町は計画行政に本腰を

農協合併は組合員の意思で

齊木定太郎氏 当町の農協合併は、現在、低迷停滞しているといわれている。

隣接市町村では、すでに大同合併をして、強化された営農技術陣によって、着々とその成果をあげつつある。

年々、経済成長率の上昇にとともなうて、いわゆる相場的支出というものが増大しているようだが、やがて、農協運営にも大きな危機をまねくということが予想される。

小千谷市の農協合併については市当局が中心となって尽力されたということを知っている。

有線と集電話では性格が違つけれども、それらを加味して、めんどろをみていただけたら。

根津町長 仙田地区に集電話が敷設されたことは、まことに喜ばしいことで、深くお祝い申し上げます。

有線放送施設と同一な考え方はできないと思われるし、他町村では助成をしていない例もあります。しかし、へき地における有効な文化施設でもあり、公共性もあると考えられます。

講師がでているので、議会からも検討していただき、応分の助成は考えたい。

が強化、徹底されてくる。あるいは、職員の給与体系というのも確立され、その他のことも徐々に改善されていく。これからの農協というものは、長期的な視野にたった総合計画が



(質問する齊木氏)

必要であり、その点、町でも計画的な行政にはあたらしい意欲をもっている。一本になった農協と町というものが、いわゆる車の両輪のごとくになって施策をすすめていくところに有線的美も期待できるものではないか。

ご承知のとおり、昭和四十四年三月三十一日をもって、国の農協合併助成法が打ち切られる。あと一カ年余りの間において、当町においても合併すべきではないか。

根津町長 農家のたいせつな経済団体である以上、あくまで組合員の意思によって合併がすすめられるべきものと考えるので、町長がうんぬんすべきではなからうと思う。

しかし、お話しのとおり四車協の合併話も相対すめられたが、現在は停滞している状態だと聞いております。話しがすすめられたからには、その必要性も、また停滞している理由もじゅうぶん了解されていることと思う。

土地改良事業の進捗と併行しておっしゃるような主旨からしてもまた、県の農協合併重点市町村にも指定されておりまして、県の指導もあることと思っております。合併論が再燃することを期待しております。

田中与三郎氏 ① 社会教育をおしすすめるには、公民館の設置ということが必然的な要求である。わたしたちもが年の希望にこたえる意味でもこの際、公民館設置準備委員会といった趣旨のものをつくり、公民館建設の研究をすすめる考えはないか。



(質問する田中氏)

正してゆかねばならない。この点にどう対処されるのか。また、財政硬直化対策の影響をうけて、四十三年度の財政が圧迫されるおそれもあるが、次の点をどう考えるか。

イ 学校給食の国庫補助打ち切りの大蔵省方針が再燃しているが補助金の減額、あるいは廃止の場合の影響と対策、

ロ 電気ガス消費税を廃止したいという自治省の考えに対して研究がなされているか。

ハ 国鉄の納付金の存廃問題に関する考え方、対策、

ニ 住民税の減税と徴収補てん問題についての対策と町村の横の連絡はどうなっているか。

ホ 農林省で存廃を決議している木材取引税の問題について。

公民館建設は必要

根津町長 ① 公民館建設は財源の見通しがつかないので、また、準備会を設ける考えはもっていません。しかし、年次計画の中において、それにもとづいて研究したいと考えております。

② 四十三年度には、交通対策協議会が立案した実施計画にもとづいて、可能なかぎり、予算を増額して信号機等の取り付けができるようにしたい。警察署にもじゅうぶん協力をねがってぜひ実現したいと考えております。

③ 昭和四十三年度を第一年度とした三カ年計画を樹立して、継続的な事業の処理を軌道にのせるとともに、健全財政をめざして、新

規事業を計画的におりこんで、効率的な財政の運営を図りたいと考える。

したがって、新年度予算の編成にあたっては、第一年度としての考え方で事業をとり入れたい。

昭和四十三年度財政は、現在の情勢から考え、最終的に五パーセント程度の伸びしか考えられぬ。

④ 職員給与のことは公正については、合併当時から職員組合の問題として、今もなお要求が続けられているが、十数年をそのまま経過した現在にいたっては、ますます是正の幅が大きい。

学歴、経歴勤務年数等によって機械的に計算したとしても、七百万くらいの財源を必要とする状況にあります。

したがって、考えはあっても手をつけられない現状であることをご理解がたい。

ただ、お説のようなことや、大学卒業、特に用だつて低いと思われる人たちの給与については、つとめて是正したい。

⑤ 大蔵当局は「財政の硬直化」を真剣に問題にしている。

地方財政に対しても、しよませをしたいという考え方も、ご指摘のような面でも真剣に考えているので、自治省や地方公共団体側でも、強力な抵抗を続けているのである。

補助金や税の問題については教育長、課長からお話しねがいたい。

国鉄の納付金廃止

は絶対反対

田口財政課長 ① 電気がス税というものは存続してゆくと

というのが実情であろう。年間の税額は、四十二年で約三百万ぐらゐあるものと思う。

② 国鉄の納付金は市町村財政の応急的措置として設けられたものであるか、あるいは恒久的な財源附与なのかということも論点となっているようだ。市町村の立場としては廃止には絶対反対の立場で運動している。

③ 住民税の減税問題は、さほど町民税の減税には影響しないと考えている。したがって、減税補て

へき地の振興と文教施策

魅力ある町づくりに努力

齊喜政良氏 老人福祉対策について所見をうかがう。



(質問する齊喜氏)

老人が全国民の中で占める割合が年々増加し、山村農業地帯では、若年層が都市に流出する関係上、若いものがない家はあつたが老人のいない家はないという状況だ。国家的な老後の保障対策をすすんでいく。

町村でも、国の施策にあわせ、あるいは独自の立場から老人の福祉対策を樹立する必要がある。そこで、具体的に次の点をど

んも四十三年は考えられないのではなからうか。

④ 木材引取税であるが、当時の場合、税額もすくないが、地域によってはこの税収の占める割合がきわめておおきいところもあり簡単に廃止にならないだろう。杉本教育長 完全給食の実施を奨励しながらも、一方では補助を打ち切るなどということとはひじょうに不可解なことである。

関係者はあけて継続継続している現状なのである。

う考えるか。
① 老人クラブの結成促進と充実を図っていただきたい。
② 老人の定期的な無料健康診断を実施してほしい。
③ 老人ホームの建設計画。
老人ホームといつても、妻有社のような養護老人ホームではなく老人の休養の場としての施設の意味である。

老人福祉対策

根津町長 全国では、六十才以上の老人が六百六十六万人で、総人口の六・六パーセントを占めています。

昭和六十年には百五十万人で総人口の十パーセントに達するとみわれておられます。川内町でも、六十才以上のものが千二百人おり、昭和六十年には二千人を越えるのではないかと

思います。これら老人のかたの健康管理のために、定期的な健康診断はぜひ実施したいと考えておりますし、お説のような老人ホームの建設もよく検討して、近い将来に実現したいと考えております。

老人クラブに対する補助については、財源とにらみ合わせて相談したいと考えております。

農業後継者対策

高橋惣八郎氏 合併当時の町の人口は一万六千人もあつたが十二月一日現在一万二千九十四人しかいない。

しかも近年、農家の転出、転業が増加してこのままではゆゆしい問題となるだろう。その根拠は、農業の後継者が少ない、それも農業をきらうというような傾向によるところが大きい。このことは、農業後継者を育てるといふ教育といふか、育成方法、施策の問題のようにつけてとれるので、この面での強力な計画をたてていただきたい。

根津町長 若い人たちが喜んで農業に従事するような農業の近代化をはかり、豊かな住みよい町づくりが理想であります。農業の後継者の不足は全国的な傾向であつて、現実としては非常にむづかしい問題であります。

これが強力な対策や施策を行なうことが非常にむづかしいということです。

町としては、現在農業を受けつぐ若い人たちのために、関係機関の協力と指導を得て、青少年クラブ活動の奨励、農業機械化講習会の奨励、農業経済研究会の奨励、青年学級活動の充実強化、農業センター活動等の事業を進めております。

は場整備といった事業を推進して、農業の近代化をはかるということも、若い人たちが、喜んで住みつくような町づくりにつながることでもあるので、お互いに努力してゆきたいものであります。

登坂敏恒氏 仙田地区この町の文教施策と土地改良および災害復旧工事について質問する。

① 教育の機会均等ということがとえられているが、仙田地域の学校の施設設備の不備が目だつ。これは、仙田地区の面積が広く立地条件も悪いという理由にもよるうが、そういった特殊性を踏まえ、たうえで、いわゆる均整のとれた文教施策をしていただ。

② 小規模の土地改良事業や、災害復旧工事は、これまで、町が二

(質問する登坂氏)



百万なり二百五十万というような予算を計上してやってきました。こんど、これをもっと増額して山間へき地にも援助の手をさし、べていただきたい。

無雪道路の実現が先決問題

根津町長 ① へき地教育には、特に機会均等の立場から、国策も力を注いでいるわけでありますが、町としても、仙田地域の総合的な発展計画のもとに、特殊性を考えた、恒久的な文教施策を考えたい。それにしても、まず、交通の確保、無雪道路の実現が先決問題になると思います。

② 小規模の災害復旧、土地改良事業はできるだけ、いままでどおりに実施してゆきたいが、まず、道路の改良という面の単独事業に経費を使いたいのを持論でもある。

赤谷、岩瀬地区の雪害災害の現場はわたしもみせてもらつていて、現年災害として復旧できなかつたことは残念に思つていて、国の予算の配分などの関係で、



(質問する高橋氏)

三方年間のうちに復旧できるので過年度事業として、明年は実施いたした。

五年後には

児童数が激減

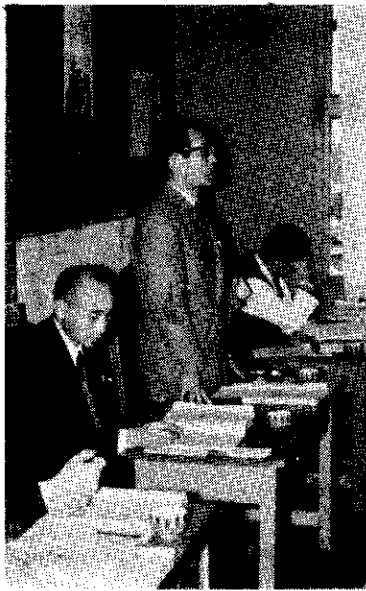
杉本教育長 こんどの児童生徒数の推移と校舎問題について見通しや現状を申し上げ、仙田地区の文教施策をいかに実施していくかということをお考えいただきたいものです。

町の児童数は、今後五カ年間で三百二十一人減少する見込みであるが、ちなみに、仙田小学校の本校児童は四十七年度にはわずか四十三人になる。これは、都市の学校における一学級分にかならない。

同じく五年後の数字を申しあげると、中仙田小八十八人、赤岩小六十七人、白倉小七十九人の児童数となる。

一方、校舎の状況はどうかというと、仙田地区の小学校はいずれも改築を必要とする危険校舎になっている。

いうまでもなく、仙田地区の文



杉本教育長を答弁する一立っている人

教施策は根本からねりなおす必要にせまられているのである。

星名土木課長 土地改良事業について、国県対象にもれたものはこれまでのやり方を踏襲してゆきたい。もちろん、土地改良区という事業体もあるの、そこで事業を実施するのが望ましいことはいくまでもないが、おもしろくおりにゆかない面がある。

部発の共同施行という場合も事務的な点で問題があり、こんどの研究課題であろう。

災害復旧は十万以上のものが国県の対象になるわけである。発生した年度から三カ年以内に完了するというので、国の予算配分も第一年度に二割、第二年度五割第三年度三割というぐあいに町村に流れてくる。

町でも優先順位を考慮にいられて工事をやっているが、なかには遅れる地区もあるけれども、予算との関係があつていたしかたないことをよく理解したい。

登坂敬恒氏 仙田の学校問題は、校舎の老朽化、児童数の減少、いずれも憂慮している。教育委員会、あるいは企画室等に

において検討し、計画していただき、この新設の企画室の機能についておきかせねがいたい。

根津町長

仙田地区の総合開発ということを考えているが、企画室で、この計画をねらう予定である。

このなかに文教施策というものをおりこんでゆくことはもちろんである。

体制づくりが必要な

ほ場整備事業

中村金作氏

ほ場整備事業については用水不足が考えられるので、かんがい排水事業を優先してやらなければならぬという判断もくだされているが、そうまでしなくても、ほ場整備事業はできるのじゃないかという声、水のたくさんあるような方面からで

てくるようにだ。そこで、この事業がまだ一般の農民に通じていない面もあるのではないかと心配するむきがある。

② 老人に希望をうしなわせないということがたいせつである。老人ホームとか、老人のいこいの場をつくることも必要だが、精神的な問題がいちばん大きいと思

っている。たとえば、老人のつとめには町の三役のだれかが出席して、激励をするとか労をねぎらうという姿勢があつてもよいと思う。

根津町長

① 平野議員のご質問によって若干申しあげたのであるが、事業実現の方策としては、ご承知のとおり、県管かんが

い排水事業、県管および団体営ほ場整備事業の三つの事業に分割し相互に密接な関連性をもつため、全体の調整にじゅうぶん留意して進みたい。

四十三年度には、六百万円の予算で、県管かんがい排水事業の調査を実施する予定であることはご承知のとおりであります。

役場としても、産業課にはほ場整備係を設けて、受け入れ体制をかためている状況であります。

② 老人福祉の問題については、齊喜議員のご質問で申しあげたように、老人をたいせつにする、あたたかい政治が必要であることはご意見のとおりであり、恒久的な福祉対策もあわせて考えてゆきたいと思ひます。

中村金作氏 産業課長に質問する。ほ場整備事業をやるうえで、金のかかる仕事だということが、一般の人からいえば大きな問題だと思ふ。

一月か二月ごろにはたいたいの予想をつけて、十アールあたりだどのくらいかかるのか、かんがい排水事業にはどれくらいのかかるのか、かんが

が必要なのだということを一般に知らせるときにしている。関係農家に対して話をして、みんなの納得のいく線にもつてゆくのが第一だと思ふ。

いつごろ、どういう方法で一般に呼びかけをしようとしているのか。

用水事業は

十アール一百万円の負担

南雲産業課長 この大事業



(質問する中村氏)

てくるので、それにこたえるだけの地元の体制を確立してゆきたいと考えている。

道路の開発

改修を急げ

滋野一郎氏

当時は鉄道が通っていないため、産業や文化をはじめとして、将来、町の発展について憂慮すべき点がおおく、問題解決のためには、道路網の開発というものが重要施策とならなければならぬ。

さいわいに、これは根津町政の眼目とも一致するようなので、この道路問題をとりあげて質問する。① 国道二百五十二号線の全面改修計画が、建設省内で具体化しているという。

この促進方について、関係地区だけの運動ではなく、町ぐるみの運動が必要と思ふが、町長の考えはどうか。

② 川西町には、県道が二本、平場と山岡地を横断しているが、仙田郷を横断している松代(小國)長商線の郡境が、いまだに開発されてない。



(質問する滋野氏)

とくに白倉から小園に通ずる二
キ口間は、早急な開発が必要であ
るし、室尾・小脇間も改修の余地
が残されている。

また犬伏に通ずる道路なども、
また車が通れない状態にあると聞
いているが、これらの県道を、早
急に開発する対策とか計画の有無
についておろかかいます。

③ 小千谷・千手・十日町線の完
全舗装が遅れているようだ。

この沿線の人家は、つねに公害
といってもよい泥水とはこりて悩
まされつづけているわけであるが
この、完全舗装の実施を県に要求
すべきではないのか。

④ 一般県道といわれている線に
ついて、いまだに三メートル幅員
の農道に等しい状況であるが、こ
の改修計画はどのようになってい
るか。

根津町長 ① 国道二百五十
二号線の改良促進につきましては
もちろん、地元のかたがたも、い
っしょうけんめい運動を続けてい
ただきたいと存じますが、町とし
ても真剣にとりくむ覚悟でありま
す。

さる十四、十五日と上京して、
地元各代議士緒先生および促進会
長田中角栄先生や、建設省政務次
官等にお会いして陳情してまいり
ます。

各課の主な仕事

総務課

庶務係 職員の内用・服務・庁舎
の管理・儀式および行事・議会
招集・議案・選挙・統計・消防

ました。

また、六日町の地建にもよって
お願いしてきたようなわけである
こういったことについては、こ
んども、たゆまぬ促進運動を続け
てゆきたい。

② 長岡・小園松代線の白倉・小
園境・同小脇・犬伏間、大沢川西
線の孫四郎地内、十日町・千手・
小千谷線の十日町地内等は、とも
に、他市町村および他の土木事務
所管内の關係が多いが、よく連絡
をとって、お互いに県道の改良促
進に努力したい考えである。

③ 県道小千谷・千手・十日町線
の舗装の促進については、特に、
川西町の重点事項であると考えて
います。

公害ともいふべき問題も、舗装
によって解決できるわけでありま
すが、県道のほうは、国道と違っ
て予算のつき方が少ないので、強
力な促進運動を続けなければなら
ない。

④ 新しく県道に編入された一般
県道につきましても、各線にわた
り、数カ所県道事業、特改事業に
組み入れてもらうようお願いしてお
ります。

とにかく、ご指摘の趣旨に添う
ように善処したいと考えてあり
ます。

防火・防犯および交通安全・町

政事務嘱託員・自衛隊員募集
文書係 文書・物品の收受発送・
電話交換業務・文書の浄書印刷
住民係 戸籍・住民基本台帳關係
届等の受理および謄抄本・証明
書の交付・印鑑証明・埋火葬許
可証明・主食配給事務・人口動

態・国保加入脱退届の受付・国
民年金喪失届の受理・行政相談
人権よう護委員・助産費・葬祭
費等の給付手続・妊婦届の受付
と母子手帳の交付

産業課

農林係 農林水産の振興・技術指
導と普及・主要作物の種子・種
苗・農林水産業金融・治山造林
狩猟・鳥獣・家畜・海外移住
農業センター管理運営

商工係 商工業の振興・中小企業
金融・観光開発・宣伝・計量器
検定

農業共済係 農作物共済・蚕けん
共済・家畜共済・建物共済・農
機具共済・病害虫防除
ほ場整備係 ほ場整備の計画・事
業の委託・監理および検査・土
地改良団体

財政課

税務係 町民税・固定資産税・軽
自動車税・木材引取税等の賦課
徴収・関係料の徴収・納税組合
土地家屋台帳の整備保管・税法
関係の諸証明・縦覧
財政係 予算編成・財政計画・財
政事情の公表・起債・交付税
財産管理係 町有財産の取得・管
理・町有住宅使用料

土木課

土木係 道路・橋の維持管理・河
川・堤防の管理・公共土木施設
の災害復旧・建物新增改築認可
建設機械の管理運営
農業土木係 農地造成・土地改良
事業・農道開発・かん排水・農
業用施設災害復旧

水道係 公営水道の企画運営・簡
易水道

国保衛生課

国民健康保険係 国保事業の運営
直営診療所業務・医療費の支払
い・国保料の賦課・日雇健保
衛生係 保健指導・伝染病予防・
狂犬病・し尿処理・公害・食品
衛生・ゴミ処理・母子健康セン
ターの管理運営・へき地患者輸
送車

社会課

社会係 生活保護・児童福祉・老
人福祉・母子福祉・身障者福祉
精神者福祉・青少年問題・軍人
恩給・職業あっせん・遺族援護
日赤事業・共同募金・国民年金

国土調査課

国土調査係 地籍調査・土地分類
調査・国調法職権代位登記

収入役室

出納係 現金の出納・物品の出納
保管・決算・保証金・有価証券
の出納保管・証書・契約書の保
管・国民年金証紙

企画室

町行財政の総合企画・町行政
事務の合理化・広報の発行・刊
行物・条例・規則の制定・改廃
編集

教育委員会

庶務係 文書の收受発送・会議・
予算・規則の改廃・教育財産の
管理・調査統計・教育広報・教
育行政の企画調整

農業委員会

農地係 農地の異動・交換分合・
農地利用・あっせん・自作農維
持資金・農政・農業振興

議会事務局

議会運営・請願・陳情等の処
理・本会議傍聴

町政のひろば 第1

発行 川西町役場

(町長 根津正三)

編集 企画室

印刷 白南風社